

大阪国際がんセンター
呼吸器外科研修内容と評価項目
(2020年作成 Ver.3.1)

評価

評価

研修項目	評価項目	臨床研修医 (1ヶ月コース)	レジデント (一般外科専攻医 3ヶ月コース)	レジデント (呼吸器外科専攻医 2-3年コース)	習熟度評価 (臨床研修医)	習熟度評価 (レジデント)
1. 病棟業務	1) 問診・理学的所見がとれる	A	A	A		
	2) 病棟での一般業務の指示ができる	A	A	A		
	3) 一般術前検査の立案、検査に基づく術前準備ができる	A	A	A		
	4) 術前準備表を作成できる	A	A	A		
	5) 患者への適切なICができる	B	B	A		
2. 呼吸器腫瘍の一般知識	1) 疫学・背景を理解している	B	A	A		
	2) 取り扱い規約を理解している	B	A	A		
	3) 病期診断を理解している	B	A	A		
	4) 病期に応じた治療選択ができる	B	B	A		
3. 呼吸器腫瘍の診断学	1) 胸部X線を読影できる(必要に応じて放射線診断学にて研修可能)	B	A	A		
	2) 胸腹部CTを読影できる(必要に応じて放射線診断学にて研修可能)	B	A	A		
	3) 気管支鏡検査を行うことができる(必要に応じて呼吸器内科にて研修可能)	C	B	A		
	4) PET 縦隔鏡適応を理解している	C	B	A		
	5) 術前診断方法を理解し、適切に選択できる	B	A	A		
	6) 鑑別診断を理解し、適切な評価ができる	B	B	A		
4. 手術治療法の理解	1) 臨床病期別の標準術式を理解している	B	A	A		
	2) 縮小手術、拡大手術を理解している	C	B	A		
5. 開胸手術の一般手術手技	1) 皮膚・軟部組織の切開できる	B	A	A		
	2) 肋骨切離・切除できる	B	A	A		
	3) 開胸が完遂できる	B	A	A		
	4) 一般組織の結紮ができる	B	A	A		
	5) 脆弱組織の結紮ができる	C	A	A		
	6) 深部組織の結紮ができる	C	A	A		
	7) 胸膜癒着を剥離できる	C	A	A		
	8) 肺組織を縫合できる	C	A	A		
	9) 葉間形成ができる	C	B	A		
	10) 肺動脈を剥離・結紮できる	C	B	A		
	11) 肺静脈を剥離・結紮できる	C	B	A		
	12) 気管支を剥離できる	C	B	A		
	13) 気管支を閉鎖できる	C	B	A		
	14) 胸腔内組織の解剖が理解できる	B	A	A		
	15) 止血操作ができる	B	A	A		
	16) 胸腔ドレーンを挿入できる	B	A	A		
	17) 閉胸操作ができる	B	A	A		
	18) 胸腔鏡(VATS)ポート挿入ができる	B	A	A		
	19) 胸腔鏡(VATS)にて一般手術手技ができる	C	B	B(A: 3年コース)		
6. 標準的手術手技	1) 第2助手ができる	B	A	A		
	2) 第1助手ができる	C	B	A		
	3) 胸骨正中切開ができる	C	B	A		
	4) 特殊な開胸操作ができる	C	B	B		
	5) 肺部分切除術ができる	B	A	A		
	6) 肺区域切除術ができる	C	B	A		
	7) 肺中葉切除・下葉切除術ができる	C	B	A		
	8) 肺上葉切除術ができる	C	B	B(A: 3年コース)		
	9) 肺全摘術ができる	C	B	B(A: 3年コース)		
	10) 右側リンパ節郭清ができる	C	B	A		
	11) 左側リンパ節郭清ができる	C	B	B(A: 3年コース)		
	12) 胸壁合併切除ができる	C	B	B(A: 3年コース)		
	13) 心膜切開・心嚢内操作ができる	C	B	B(A: 3年コース)		
	14) 気管支形成術ができる	C	B	B(A: 3年コース)		
	15) 肺血管形成術ができる	C	B	B		
	16) 手術後標本を整理できる	B	A	A		
	17) 胸腔鏡(VATS)併用にて標準的手術手技ができる	C	B	B(A: 3年コース)		
7. 術後管理	1) 一般的術後管理ができる	A	A	A		
	2) 創の管理・抜糸ができる	A	A	A		
	3) 胸腔内ドレーンの管理・抜去ができる	B	A	A		
	4) 糖尿病、心・血管・脳合併症例の対応・管理ができる	B	A	A		
	5) 術後合併症を理解し、早期発見ができる	B	A	A		
	6) 術後出血、肺炎、膿胸、気管支狭窄、乳糜胸などの重篤合併症に対応ができる	C	B	B		
8. 術後治療の理解	1) 病理標本の取り扱い・切り出しを理解している	B	A	A		
	2) 病理病期による治療選択を理解している	B	B	A		
	3) 入院カルテの記載および外来担当医への引き継ぎ内容(入院時サマリー)が完成している	A	A	A		
	4) 患者情報をNODや、センター呼吸器外科データファイルへ正確に記載ができる	A	A	A		
9. 病理・細胞診の理解	1) 呼吸器腫瘍の病理組織診断を理解している(必要に応じて病理細胞診科にて研修可能)	C	B	A		
	2) 呼吸器腫瘍の細胞診を理解している(必要に応じて病理細胞診科にて研修可能)	C	B	B(A: 3年コース)		
10. 臨床試験などの理解	1) 臨床試験を理解している	B	A	A		
	2) CRFを正確に記載できる	B	A	A		
11. 臨床研究発表・論文	1) 症例報告の学会発表	B	A	A		
	2) 症例報告の論文作成(邦文/英文)	B	B	A/A		
	3) 臨床研究の学会発表	C	B	A		

4)臨床研究の論文作成(邦文/英文)	C	B	A / B		
	A:必須項目	A:必須項目	A:必須項目	3:十分である	3:十分である
	B:努力項目	B:努力項目	B:努力項目	2:である	2:である
	C:見学目標	C:見学目標	C:見学目標	1:裏努力	1:裏努力
				0:評価不能	0:評価不能

		副主治医目標症例数	主治医目標症例数	主治医目標症例数 (術者)	実際症例数	実際症例数
11. 目標症例数	肺癌・縦隔腫瘍 + その他	5症例以上	10症例以上	30症例以上 + 5 症例以上 (50症例以上:3年コース)		

教育責任者コメント

研修医・レジデント(修練医)コメント

研修(修練)医氏名

研修(修練)期間

教育責任者氏名

H26 ver. 2.2 made
by Hizashiyama M